

令和8年度 介護テクノロジー定着支援事業に係る介護生産性向上オンラインセミナー

和歌山県介護生産性向上  
総合相談センターについて

# 介護現場における生産性向上について

人口減少の中、介護職は限られた人数で専門性の高い介護サービスを提供しなければなりません。  
職員が介護業務に集中でき、いきいきと働くことのできる環境を作るため、日ごろの業務改善(すなわち生産性向上)は重要です。

とは言ったものの…

「何から始めればいいのか分からない」  
「改善の方向性が見えない」  
「周りの事業所と比べると遅れている」  
「とにかく取組まなければならない」



和歌山県介護生産性向上総合相談センター  
にご相談ください

## 県内の介護現場の生産性向上を支援する機関

### 各種相談

業務改善やテクノロジー活用等について、施設ごとの状況に応じてアドバイスをを行い、相談内容に応じて他機関へつなぎます。

### 研修会

セミナーやワークショップを開催。改善に役立つヒントを得る場として活用していただけます。

### 伴走支援

必要に応じて専門家を派遣します。業務改善に向けて専門家とともに業務内容の見直しやテクノロジー導入等のお手伝いをします。

## ～入浴オペレーションの見直し及び入浴管理表ペーパーレス化～

### (1)取組背景

定員20名の地域密着型介護老人福祉施設。機械浴槽の故障により、修理・交換までの間は旧設備を使用せざるを得ず、入浴介助における業務負担の増加により今回伴走支援を希望した。

### (2)プロセス

- Step 1 : 浴槽故障を機に、入浴オペレーション全体の棚卸を実施
- Step 2 : オペレーションを見直し、昼食前に入浴介助が完了するよう時間配分を調整
- Step 3 : 新オペレーションに基づき、チーム全体が統一された動きで介助を実施
- Step 4 : 入浴予定表をExcelで作成し、関数を活用して全フロアの予定を一括管理
- Step 5 : 共有ファイルを導入し、ペーパーレスで入浴担当者の選定・確認が可能となる

### (3)効果

- ・入浴(移動含む)に要した時間3.5 時間 → 3時間 **30分短縮**
- ・昼食前に入浴介助が完了し、フロア的人员配置が**1.5倍**に。
- ・入浴予定表のペーパーレス化により、確認・調整等にかかる時間 **約50%短縮**

## ～ショートステイの荷物チェック簡略化～

### (1) 取組背景

20名定員のショートステイ。1日平均3件程度の入退園があるため、その都度、衣類や貴重品の全ての持ち物チェックを行っていた。職員を必ず1名配置する必要があり、また職員の「間違えてはいけない」という精神的負担が大きかった。

### (2) プロセス

Step 1：荷物チェック作業について必要な作業と不要な作業の洗い出しを行った。

Step 2：不要な部分を削除し、チェック対象を貴重品に限定し、新たな様式を作成した。

Step 3：実施日を決定。新しい方法に変更することを周知。

Step 4：実施日2か月前に各家族及び居宅ケアマネ事業所に対し、文書にて周知した。

Step 5：新様式を配布し、実施日より開始となる。

### (3) 効果

・今までは、一連の業務に1件あたり約30分かかっていたが、10分に短縮できた。

→ 1日あたり3名の利用者の荷物チェックで、**1日約60分短縮**を達成

## ～生成AIを活用した報告書作成～

### (1) 取組背景

18名定員のデイサービスセンター。これまで、介護記録・日誌・報告書などの事務作業はすべて手書きで行ってきた。特に月末には、各利用者の状況をまとめたケアマネジャー向け報告書の作成に多くの時間を要していた。

### (2) プロセス

Step 1：手書きは継続し、書き方を文章から箇条書きに変更

Step 2：箇条書きの内容を生成AIに入力して文章化し確認・修正

Step 3：導入済の介護ソフトの活用内容を介護ソフト会社に確認

介護ソフトで音声入力できることが分かり、介護リーダーから音声入力開始



### (3) 効果

①手書きの介護記録を文章から箇条書きに変更

1日あたり約60分 → 約30分 **1か月あたり約750分短縮**

②毎月1回ケアマネジャーへの報告書作成時間

利用者：約13名～17名

一人あたり約30分 → 約20分 **1か月あたり130分～170分短縮**

# 参考資料①

厚生労働省HPにおいて、「生産性向上ガイドライン」を作成し、PDFファイル、電子書籍ファイル(e-Pub形式)で公開されております。

厚生労働省HP : <https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei-information.html>

施設・居宅・医療系各サービス共通冊子  
(令和6年度改訂)

サービス別冊子 施設サービスガイドライン  
(令和6年度改訂)



2次元コード



2次元コード

# 参考資料②

## 居宅サービスガイドライン (令和6年度改訂)



2次元コード

## 医療系サービスガイドライン (令和6年度改訂)前半



2次元コード

前半



後半



# 参考資料③

介護テクノロジー定着支援事業補助金にあたっては、「福祉用具情報システム(TAIS)」（(公財)テクノエイド協会が提供）で「介護テクノロジー」として選定されている機器は対象となります。  
TAISで選定を受けていない機器が「介護テクノロジー利用の重点分野」に該当するかは個別の判断となります。

## 福祉用具情報システム (TAIS)

福祉用具情報システム (TAIS) は、国内の福祉用具製造事業者又は輸入事業者から、「企業」及び「福祉用具 (※) 」情報を収集し、当協会のホームページから情報発信するシステムです。

利用者や介護者の状態に即した適切な福祉用具を選定するためには、利用される方の身体状況や使用環境などの情報に加え、使用する用具の「仕様」や「機能」、「性能」などに関する情報が必要です。TAISは、全国に散在する福祉用具に関する情報を収集・分類、体系化し、情報提供することによって、福祉用具の適切な選定及び利用の推進に寄与するものです。

TAIS: 「Technical Aids Information System」の略

(※) 介護テクノロジーを含む。

介護テクノロジーとは、令和6年6月28日、厚生労働省と経済産業省においてプレスリリースされた「介護テクノロジー利用の重点分野」に該当する9分野16項目の機器等も含まれます。

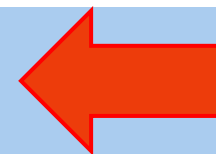
2次元コード



ご清聴ありがとうございました。  
本センターに関する質問については、センターHPの相談フォームよりお願いします。

和歌山県介護生産性向上総合相談センター

TEL 073-435-5225 FAX 073-435-5209



介護生産性向上  
相談フォーム



1 本セミナーにおけるアンケートについて <回答期限 6月29日(月)~7月31日(金)>

今年度、介護テクノロジー一定着支援事業補助金を活用する予定の事業所さまは、アンケート回答が必須となっています。

サービス種別ごとに1事業所の扱いとなりますので、複数のサービスが併設されている事業所は、サービス種別ごとにアンケートの回答をお願いします。

アンケート回答フォーム



<https://forms.gle/UX9y7DZ5iSRsTYFDA>

2 「業務改善計画書」の提出について <提出期限 6月29日(月)~7月31日(金)>

本センターホームページ上から提出していただくことになっていますので、以下のURLから業務改善計画書の提出をお願いします。

[https://wakayamakenshakyo.or.jp/~jinzai/?page\\_id=8541](https://wakayamakenshakyo.or.jp/~jinzai/?page_id=8541)